

日本  
サンゴ礁  
学会

# 第7回大会 および 公開シンポジウム

のご案内

2004年11月11日(木) ~ 11月14日(日)

国士館大学世田谷キャンパス 多目的ホール他  
東京都世田谷区世田谷4-28-1

大会情報 日本サンゴ礁学会: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jcrs/>

日本サンゴ礁第7回大会を  
2004年11月11日(木)~11月14日(日)  
に国士館大学で開催いたします。  
今年はICRSが開催されましたが、  
この大会でも多数の発表が集まりました。  
皆様のお越しをお待ちしています。

大会実行委員長 長谷川 均

## ■ スケジュール ■

- 11月11日(木)  
15:00~18:00 ... 評議員会 (柴田会館3F)
- 11月12日(金)  
12:00~13:00 ... 受付  
13:00~18:00 ... 口頭発表
- 11月13日(土)  
09:30~11:30 ... ポスター発表  
11:30~12:30 ... 保全委員会 (5号館2F 大会議室)  
12:40~16:00 ... 口頭発表  
16:30~17:30 ... 総会&ポスター受賞発表  
18:00~20:30 ... 懇親会 (1号館)
- 11月14日(日)  
09:00~12:30 ... 口頭発表  
13:30~16:30 ... 公開シンポジウム

- 13:40-14:05 「ゆりむん」の世界観を考える  
堀 信行 (東京都立大学)
  - 14:05-14:30 裾礁、海と陸のはざまの生活世界  
渡久地 健 ((財)沖縄協会)
  - 14:30-14:55 生物学的観察者の見たサンゴ礁の世界観  
中野義勝 (琉球大学)
  - 14:55-15:20 南太平洋に最初に居住した人々  
近森 正 (平成帝京大学)
  - 15:20-15:30 休憩
  - 15:30-16:30 パネルディスカッション  
堀 信行・渡久地 健・中野義勝・近森 正
- 司 会: 中井達郎 (国士館大学)

## ■ 昼食について ■

11月14日(日)は、大学の食堂、ハンバーガーショップは閉店しており、会場周辺の食堂も限られております。会場受付で周辺の食堂マップを用意致しますが、前もってこれらの点をお含み置き下さい。なお、大学の近隣にはコンビニや弁当屋があります。会員控え室も会場近くに用意します。

## ■ 会場へのアクセス ■

- 1) 東急世田谷線「松陰神社前駅」下車、徒歩6分。  
世田谷区役所の隣です。  
渋谷方面から：新玉川線「三軒茶屋駅」で東急世田谷線に乗り換え、20分で「松陰神社前駅」です。  
新宿方面から：小田急線「豪徳寺駅」下車、徒歩1分の「山下駅」で東急世田谷線に乗り換え、約40分で「松陰神社前」です。
- 2) 小田急線「梅ヶ丘駅」下車、徒歩15分。  
梅ヶ丘駅下車の場合、初めての人には道がわかりにくいので、できれば上記1のルートをおすすめします。
- 3) 羽田空港駅から  
渋谷駅、三軒茶屋駅経由で松陰神社前駅まで約1時間10分。

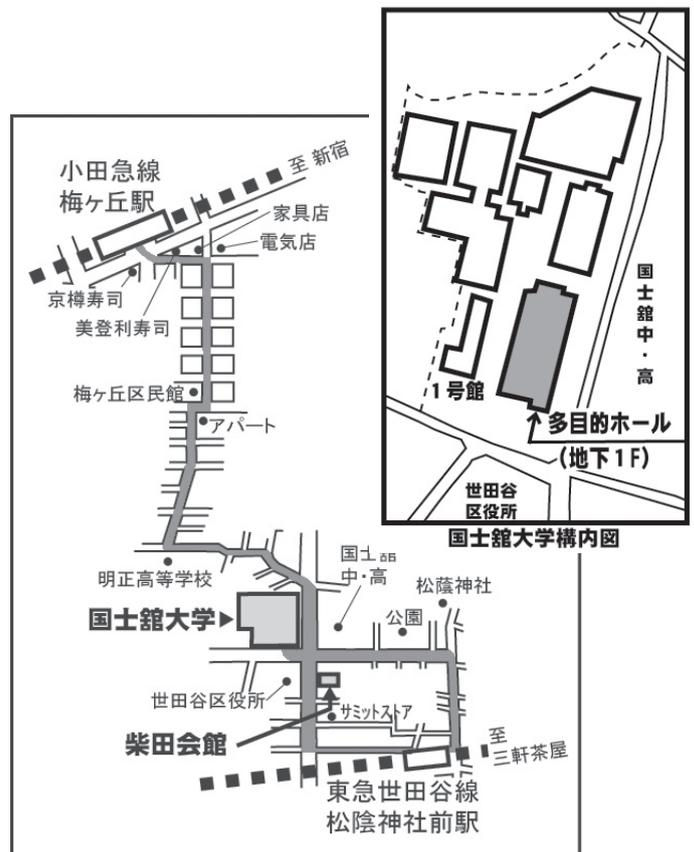
会場周辺案内 (<http://www.kokushikan.ac.jp/kouhou/campusinfo/setagaya/>)

## ■ 公開シンポジウム ■

「サンゴ礁世界の協調  
~時間を越えた人との交わり~」

- 日 時：11月14日(日) 13:30~16:30
- 会 場：国士館大学世田谷キャンパス 多目的ホール

13:30-13:40 シンポジウムの趣旨説明  
長谷川 均 (国士館大学)



# 大会 PROGRAM プログラム

## 口頭発表

### 11月12日(金)

[座長:佐藤崇範((株)関西総合環境センター/東京都立大・院)]

**13:00 101** ○茅根 創(東京大・理・地球惑星科学)  
琉球列島のサンゴ礁地形分類とその用語

**13:20 102** ○堀 信行(都立大・理・地理)  
周辺域のサンゴ礁地形はどのように消滅するか-礁斜面勾配からの一考察-

**13:40 103** ○中森 亨・中村隆志・増淵靖(東北大・理)  
サンゴ礁における堆積作用と反堆積作用

**14:00 104** 岩瀬文人・中地シュウ(黒潮生物研究所)・○中林孝之・小野正順(東京久栄)  
高知県土佐清水市竜串湾における自然再生事業について~平成13年度水害の濁り拡散及び堆積土砂の移動~

**14:20 105** ○中地シュウ・岩瀬 文人(黒潮生物研究所)  
高知県土佐清水市竜串湾における自然再生事業について

<<< 休憩 14:40-14:50 >>>

[座長:高橋啓介(環境省自然環境局)]

**14:50 106** 二宮早由子・○岩下 勉・増本 貴士・倉橋 俊介(東京久栄)・中野義勝(琉球大・熱生研)  
沖縄地方における海草藻場の造成手法の検討

**15:10 107** 小谷和彦(沖縄環境調査株式会社)  
沖縄本島東海岸域におけるサンゴ礁群落の再生

**15:30 108** 藤原秀一(国土環境(株))  
石西礁湖におけるサンゴ群集の被度、多様度と食痕の関係

**15:50 109** 中谷誠治(亜熱帯総合研究所)  
東チモールのサンゴ礁資源利用と管理体制の構築に向けた支援のあり方

**16:10 110** 鹿熊信一郎(亜熱帯総合研究所)  
モーリシャスにおける沿岸資源管理の課題と対策

<<< 休憩 16:30-16:40 >>>

[座長:日比野浩平((財)自然環境研究センター)]

**16:40 111** 高橋啓介(環境省自然環境局自然環境計画課)  
日本のサンゴ礁域における海中公園制度

**17:00 112** ○宮本育昌・安部真理子・土川仁(コーラル・ネットワーク)  
リーフチェックの紹介

**17:20 113** 谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)  
阿嘉島周辺のサンゴ被度の変化と地元住民による保全活動

**17:40 114** 入川 暁之(琉球大・院・理)  
沖縄県恩納村における造礁サンゴ群集再生活動の報告

### 11月13日(土)

[座長:中村 崇(琉球大・遺伝子実験センター)]

**12:40 201** ○服部昭尚(滋賀大・教育)・小林 都(石垣市在住)  
礁池の景観構造と魚類の生息地のフラクタル次元:拡大空中写真の画像解析を応用した潜水調査の試み

**13:00 202** ○Maria Cecilia D. Rubio・Enrico C. Paringit・灘岡 和夫(東工大・情報理工)  
Determination of temporal vegetation cover change pattern using

remote sensing images from multi-platform sensors for effective coastal ecosystem management: a case of Todoroki watershed, Ishigaki

**13:20 203** ○David K Idip Jr(Univ. of Tokyo)・Yimnag Golbuu・Lolita Penland・Steven Victor (Palau International Coral Reef Center)・Hajime Kayanne (Univ. of Tokyo)・Hiroya Yamano (National Institute for Environmental Studies)・Maiko Matsuda・Hiroshi Hanaizumi (Hosei Univ.)  
Monitoring and Classification of Palauan Reefs

**13:40 204** ○飯塚広泰(東工大・情報理工)・田村 仁(日本学術振興会特別研究員)・灘岡和夫・Maria Cecilia D. Rubio((東工大・情報理工)・Miguel D. Fortes・Rochelle L. Balitaan・Randell E. Villanueva(Marine Science Institute Univ. of the Philippines)  
フィリピン・ミンドロ島プエルトガレラにおける海水流動と水質環境特性について

**14:00 205** ○鈴木庸吉(東工大)・宮澤泰正(海洋研究開発機構)・灘岡和夫(東工大)  
多重ネスティング海水流動モデルによる沖縄本島西方海域流動場の数値解析

<<< 休憩 14:20-14:30 >>>

[座長:谷口 洋基(阿嘉島臨海研究所)]

**14:30 206** ○田村仁・灘岡和夫・熊谷航(東工大・情報理工)  
数値シミュレーションに基づく石垣島白保海域における流動・温熱環境特性の解明

**14:50 207** ○Yoshimi Suzuki(Shizuoka Univ.)・Loic Charpy(IRD)・Beatriz Casareto(LASC)・Jean BLancholt(IRD)・Yoshio Ishikawa(Shizuoka Univ.)  
Linkage between organic matters, nutrients and pico, nano plankton in coral reef in la Reunion

**15:10 208** ○中村 崇・山崎 秀雄(琉球大・遺伝子実験センター)  
Flow as an essential factor for corals during high temperature period

**15:30 209** 鳥海大輔・廣瀬慎美子・○日高道雄(琉球大・理・海洋自然)  
サカサクラゲ-褐虫藻共生系を用いた白化機構の解析

**15:50 210** ○安田仁奈(東工大)・浜口昌巳・佐々木美穂(瀬戸内水研)・岡地賢((有)コーラルクエスト)・佐波 征機(松阪市在住)・灘岡和夫・波利井佐紀(東工大)  
オニヒトデのミトコンドリア全長解析とその応用

### 11月14日(日)

[座長:林原 毅(西海区水研石垣)]

**9:00 301** 花城盛三・○貝志良太(沖縄総合事務局開発建設部)・高橋由浩((財)港湾空間高度化環境研究センター)・山本秀一・田村圭一(株式会社エコー)  
港湾におけるサンゴ移植技術

**9:20 302** ○柴田早苗・綿貫 啓・青田 徹・口ノ町誠・廣瀬紀一((株)テトラ)・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)  
防波堤直立壁の表面形状が与えるサンゴの着生効果

**9:40 303** ○二宮早由子・倉橋俊介((株)東京久栄)・権田泰之(木曾興業(株))・安藤康久((株)アコーセラミック)  
リサイクルガラスを用いたサンゴ幼生の定着基材について

[座長:中地 シュウ(黒潮生物研究所)]

**10:00 304** ○林原 毅(西海区水研石垣)・鈴木 豪(京大)・服田昌之(お茶大)・岩尾研二・谷口洋基・大森 信(阿嘉島臨海研究所)・清水弘文(中央水研)・玉城泉也・伏屋玲子・加藤雅也(西海区水研石垣)  
有性生殖を利用した造礁サンゴ群集の大規模修復技術の開発 3.幼生放流による加入促進効果を検証する野外実験

**10:20 305** ○服田昌之(お茶大・湾岸セ)・堀越彩香・佐々木千枝(お茶大・理・生)  
ミドリイシの着生変態を左右するバクテリア相

**10:40 306** ○鈴木豪(京大・院・農)・林原毅・玉城泉也・伏屋玲子・加藤雅也(西海区水研石垣)・清水弘文(中央水研)・林勇夫(京大・院・農)

異なる水深帯で形成された付着生物相はミドリイシ属サンゴ幼生に対して種特異的な着生誘因効果を持つか？

<<< 休憩 11:00-11:10 >>>

[座長:鈴木 倫太郎(駒澤大・応用地理研)]

**11:10 307** ○佐藤崇範((株)関西総合環境センター/東京都立大・院) 石垣島・沖縄本島におけるミドリイシ群体の分布パターン

**11:30 308** ○杉原薫(福岡大・理)・山野博哉(国立環境研)・今福太郎(福岡大・理) 長崎県の造礁サンゴ群集

**11:50 309** ○名島弥生(慶応義塾大・院)・石村智(京大・院)・北條芳隆(東海大・文)・河野裕美(東海大・沖縄地域研究センター)・上野信平(東海大・海洋) 西表島近世網取地区における貝類資源利用

**12:10 310** ○目崎 茂和(南山大)・渡久地 健((財)沖縄協会) 日本のサンゴ礁測量・略史

## ポスター発表

11月13日(土) 9:30~10:10

**A-1** ○藤田和彦(琉球大・理・物質地球科学) 日本列島海域における大型有孔虫の地理的分布 - 特に分布北限について -

**A-2** ○舟越善隆((株)東海アクアノーツ)・上野信平(東海大・海洋) 駿河湾のエガミドリイシ群集におけるタコノマクラの役割

**A-3** ○橋本和正・加藤雅也・澁野拓郎・阿部寧・高田宜武(西海水研石垣)・上野光弘((財)自然環境研究センター) ミトコンドリアDNAを用いたオニヒトデの集団遺伝学的解析:石西礁湖の大発生群に見られる多型性

**A-4** ○西川昭・酒井一彦(琉球大・熱生研)・Kinzie III, R. A.(ハワイ大) ハワイ諸島オアフ島カネオヘ湾の*Montipora capitata*の破片化

**A-5** ○萩原隼人・阿部真理子(琉球大・院・理工・海洋自然)・日高道雄(琉球大・理・海洋自然) アザミサンゴ*Galaxea fascicularis*の色彩型と蛍光タンパク質に関する研究

**A-6** ○樋口富彦・城間和代・藤村弘行・新垣雄光・大森保(琉球大・理・海洋自然) 連続流水混合実験システムを用いたサンゴの長期飼育

**A-7** ○北田幸男(東北大・連携大学院)・川幡穂高(東北大・院・理・産総研)・鈴木淳(産総研)・大森保(琉球大・理・海洋自然) 液体クロマトグラフィー/タンデム型質量分析法(LC-MS-MS)による沖縄本島河川中のノニルフェノール(NP)とビスフェノールA(BPA)の環境動態の解明

**A-8** ○羽川貴弘・黒沢勝彦・鈴木款(静岡大・理) 石垣島吹通川河口のマングローブ域における窒素化合物の動態

**A-9** 茅根 創・飯嶋寛子・中村修子・真岩一幸(東京大・理・地球惑星科学) ケニヤのサンゴ年輪の酸素同位体比・蛍光分析結果と降水・河川流量変動

**A-10** ○菅 浩伸(岡山大)・中島洋典(有明高専)・野中正法(美ら海水族館)・吉水剛志(岡山大・院) 沖縄島本部半島・美ら海水族館沖における現成サンゴ礁の形成過程

**A-11** ○嘉藤徹・加藤健・根岸明・大谷謙仁・飯村葉子・野崎健(産総研)・茅根創(東京大) サンゴ礁島嶼社会のための新エネルギーシステム

**A-12** ○池田穰((株)間組)・千村次生(中央開発(株))・仲地昭人(極東建設(株)) 水中不分離性コンクリート上へのサンゴ等群体の移築

**A-13** 中井達郎(国士舘大・非) 空中写真判読による生態系の空間構造の把握 - 辺野古サンゴ礁、白保サンゴ礁等を例に -

11月13日(土) 10:10~10:50

**B-1** 岩尾研二(阿嘉島臨海研究所) 海草上に生息するホソガヤ科の一種(ヒドロ虫綱)の生態

**B-2** ○安田仁奈(東工大)・上野光弘(環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター)・小笠原敬((財)沖縄県環境科学センター)・興克樹(奄美海洋展示館)・梶原健次(平良市栽培漁業センター)・谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)・岡地賢((有)コーラルクエスト)・灘岡和夫・波利井佐紀(東工大)・鹿熊信一郎(亜熱帯総研) 生殖腺観察による琉球列島5海域におけるオニヒトデ産卵期の推定

**B-3** ○野澤洋耕(九州大・天草臨海実験所) Community structure and 3-year dynamics of a high-latitude coral community, Amakusa, southwestern Japan

**B-4** ○渡邊俊樹・頼信実・湯山育子・尾崎紀昭・早川英毅(東大・海洋研)・紀井晋一・田中次郎(東京海洋大)・岩尾研二(阿嘉島臨海研究所)・丸山正(海洋研究開発機構) 褐虫藻共生の分子機構研究のためのモデル系の確立

**B-5** ○山本広美・野中正法・A. H. Baird(美ら海水族館) Coral spawning at the Okinawa Churaumi Aquarium

**B-6** ○鈴木豪(京大・院・農)・林原毅・玉城泉也・伏屋玲子(西海区水研石垣)・加藤雅也(西海区水研石垣)・林勇夫(京大・院・農) 循環水槽におけるミドリイシ属サンゴ幼生の着生実験-流れの速さはどう影響するか？

**B-7** ○向哲嗣(東海大・海洋学研究所)・上野信平(東海大・海洋) 西表島浦内湾におけるサンゴ群集の多様性と類似性

**B-8** ○福岡雅史(東海大・海洋学研究所)・上野信平(東海大・海洋) 西表島浦内川河口域マングローブにおけるシレンシジミの生態分布

**B-9** ○井上麻夕里(東北大・院・理)・野原昌人(産総研)・鈴木 淳(産総研)・川幡穂高(東北大・院・理・産総研) 海洋環境の指標となるサンゴ骨格中の微量元素

**B-10** ○青田 徹・綿貫 啓・柴田早苗((株)テトラ)・熊谷 航・灘岡和夫・三井 順(東工大)・岩尾研二・谷口洋基・大森 信(阿嘉島臨海研究所) サンゴ礁形成に与える流動環境の影響

**B-11** ○日比野浩平((財)自然環境研究センター)・高橋啓介(環境省自然環境局) 日本のサンゴ礁国際協力

**B-12** ○綿貫 啓・青田 徹・柴田早苗・高橋幹夫・長田紀晃((株)テトラ) 消波ブロックの表面形状が与えるサンゴの着生効果

**B-13** ○長谷川 均(国士舘大)・渡久地 健((財)沖縄協会) 琉球諸島における大正期以降の土地利用の変化 -GISを使った復元と解析を中心として-

11月13日(土) 10:50~11:30

**C-1** ○磯村尚子(お茶大・院・人間文化)・服田昌之(お茶大・湾岸生物センター) シライトイソギンチャク類似3種の分類学的再検討

**C-2** ○横井 謙典((有)ちむちゅらさ ブルートライ)・小菅 恵雄・小菅 陽子((株)アイシーテル) 稚オニヒトデのソフトコーラル食について

**C-3** ○石津直美・杉原薫(福岡大・理) 白保礁原における*Goniastrea aspera*群集のサイズ分布とその遷移

**C-4** ○James D. Reimer・Kiyotaka Takishita (Extremobiosphere Research Center, JAMSTEC)・Shusuke Ono (Miyakonojo Higashi High School)・Junzo Tsukahara (Faculty of Science, Kagoshima Univ.)・Tadashi Maruyama (Extremobiosphere Research Center, JAMSTEC) Intercolony and Latitudinal ITS Sequence Variation in the Endosymbiotic Dinoflagellate Genus *Symbiodinium* (Dinophyceae) in *Zoanthus* (Anthozoa: Hexacorallia)

**C-5** ○添田寿子(東海大・院・海洋)・舟尾隆(東海大・海洋科学博物館)・横地洋之(東海大・海洋研究所)

伊豆半島におけるエグミドリイシ*Acropora tumida*の繁殖生態と移植試験

**C-6** ○波利井 佐紀・灘岡 和夫(東工大・情報理工)・久保弘文・岩井憲司(沖縄県水試八重山支場)・林原毅(西海水研石垣)  
振動流環境下でのサンゴ幼生の行動および定着

**C-7** 立田 穰(電中研)・若林真千子・向江奈緒(東京医薬)  
サンゴ礁におけるn-アルカンを用いた陸域負荷の予測手法

**C-8** 雪野 出(和光大・非)・○鈴木 倫太郎(駒澤大・応用地理研)・安村茂樹(WWFジャパン)・佐藤 昌憲(駒澤大・医療健康科学部)・権田 雅之(WWFジャパン)  
石垣島白保サンゴ礁浅海域におけるハマサンゴの成長に及ぼす環境要因の考察

**C-9** ○熊谷航・灘岡和夫・田村仁・鈴木庸吉・山本高大(東工大・情報理工)  
石垣島東海岸裾礁域のSpurs&Groovesにおける海水流動および波動場

**C-10** ○土川 仁・安部 真理子・渡辺 暢雄・宮本 育昌(コーラル・ネットワーク)  
リーフチェック調査結果報告

**C-10** 花城盛三・○長嶺朝仁(沖縄総合事務局開発建設部)・田邊俊郎((財)港湾空間高度化環境研究センター)・山本秀一((株)エコー)  
沖縄の港湾整備における環境保全の考え方

**C-12** ○渡邊晋也(東海大・院・海洋)・迫田恵三・上野信平・(東海大・海洋)・吉居智司(MARSHALLS OCEANIC INSTITUTE)  
人工付着基盤の表面特性がサンゴ付着に及ぼす影響

## 📣 発表について

●口頭発表の発表時間は質疑応答を含め20分です。15分で1鈴、17分で2鈴、20分で3鈴を鳴らします。

●口頭発表の際には液晶プロジェクターが使用可能です。予備を含めて複数のプロジェクターを用意しますが、万一の場合に備えてOHPシートに印刷したものをご持参をお勧めします。

## 液晶プロジェクターを使った口頭発表に関して

①会場には Windows XP(または2000)とMicrosoft Powerpointをインストールしたパーソナルコンピュータを設置し、液晶プロジェクターに接続します。

②液晶プロジェクターを用いて発表する場合は、Windows版のPowerPointで正常に表示されることを確認したpptファイルを、USBメモリーまたはCD-R(ともにWindowsで読み込めるFormat)に保存してご持参ください。

③ファイル名は、講演番号(半角数字3けた:プログラム参照)に続けて筆頭演者の姓名(全角文字可)とします。Windows以外のOSで作成された場合必ず拡張子.pptを付してください。また、このファイルがWindows版のPowerPointで正常に読み出せることを確認しておいてください。

④発表者は、午前、午後の発表開始の30分前までに、発表会場の演壇まで上記メディアを持参し担当の者に渡してファイルのコピーを依頼し、会場のパーソナルコンピュータでスライドショーが正常に表示されることを確認してください。発表開始後はファイルを受け付けることが難しいと思いますのでご注意ください。

⑤不完全なファイル、ウイルス等に汚染されたファイルは受け付けませんのでご注意ください。

⑥自分のパーソナルコンピュータを会場の液晶プロジェクターに接続することは原則としてお断りします。

## ポスター発表について

①Aグループの方は11月13日(土)の9:30から10:10、Bグループの方は10:10から10:50、Cグループの方は10:50から11:30の間に、各自の展示ポスターの前で質問者に説明してください。

②ポスター発表には幅90cm、高さ120cmのパネルを用意いたします。パネルは足(両側にパイプ)の長さが60cmありますので、最大で高さ180cmまでのポスターが貼れます。指定のパネルに各自で見やすく貼ってください。ポスターは11月12日(金)の11時から発表前までに貼ってください。また、撤去は11月13日(土)の16時30分までをお願いいたします。